ひろの議会だより

笑顔あふれる運動会！
（広野町保育所運動会）

平成27年度 復興事業の成果を認定

P2 復興へ取り組む広野町財政状況

P8 復興事業の具現化に向けて（9月補正予算）

P14 帰町に向けての環境整備など 6人の議員が町政を問う（一般質問）

No.131
平成28年10月21日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

決算議会 9月定例会

平成28年9月定例会を9月13日から16日までの会期で開きました。

今回は、平成28年度一般会計および特別会計補正予算案など、提出された22議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成27年度の一般会計および6つの特別会計を認定しましたが、東日本大震災の影響による町税の減収、今後の財政運営や収入未済額の縮減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、6人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いただしました。

平成27年度決算

復興事業の成果 を認定

～各会計の決算を認定～

歳出決算 192億円

一般会計は、約167億3185万円、特別会計は、国民健康保険など6会計合わせて約25億6637万円となり、合計約192億9823万円の歳出決算となりました。

これに対して、歳入決算は歳出決算を約19億7820万円上回る、約212億7643万円となりました。

県事業の北釜周辺の工事

27年度 決算の概要

一般会計の歳入面で町税は、東京電力㈱広野火力発電所の大規模償却資産税が大幅に減少しましたが、個人及び法人町民税の増収により、前年度と比較して約534万円の増加となっています。

また、町税等の収入未済額は、不納欠損処理をしたこともあり、前年度と比較して約1494万円減少しています。

一般会計や特別会計における収入未済額の縮減は、自主財源の確保及び負担の公平性の観点からも最も重要な課題であることから、滞納の長期化の抑制、滞納者への早期対応など有効かつ効率的な徴収対策を行うことが求められています。

監査委員からの意見

監査結果を述べる
黒田代表監査委員

平成27年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものと認められました。

当町の財政状況は、個人及び法人町民税の増収により比較的ゆとりのある財政運営ですが、計画的な財政運営と効率的な予算配分に努め、歳入面では転入者からの保険料（税）のしっかりとした徴収事務を行い、歳出面では事務事業の見直しを図り、予防医療、予防介護の充実・拡充に努めて疾病を未然に防ぐ事業を引き続き実施し、結果的に歳出の削減に繋がるような施策を積極的に展開されることを強く望みます。

災害の復興・再生と町民福祉の推進、町政発展のため、なお一層安定した財政基盤の確保及び構築に努められることを求めます。

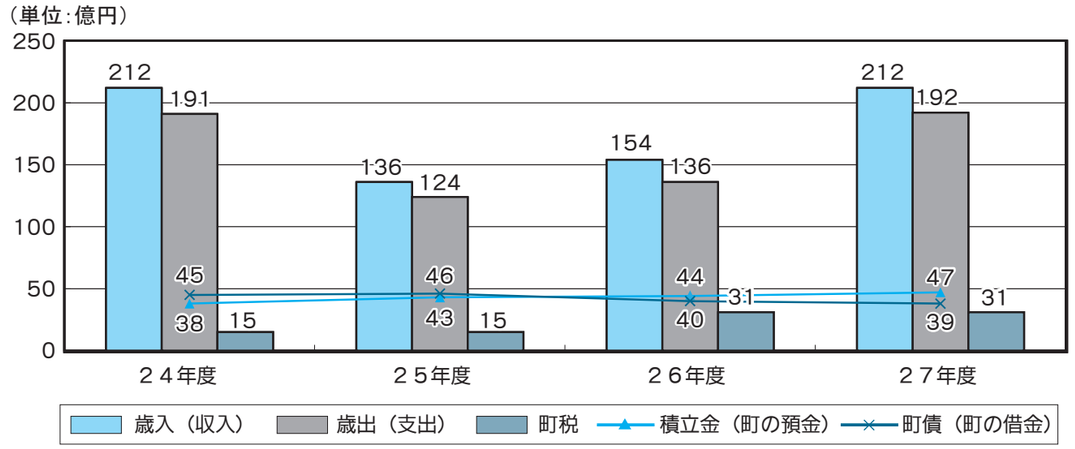
平成27年度歳入・歳出決算額

〈金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。〉

会計名		決算額 歳入（収入）	決算額 歳出（支出）	収入未済額（税金等の滞納）	採決の状況
一般会計		183億1791万円	167億3185万円	4億6056万円	全員賛成で認定
特別会計	国民健康保険	12億615万円	10億9873万円	7730万円	〃
	土地開発事業	7億6169万円	6億431万円	0円	〃
	公共下水道事業	4億5219万円	3億7657万円	320万円	〃
	農業集落排水事業	3129万円	2717万円	146万円	〃
	介護保険	4億8903万円	4億4242万円	406万円	〃
	後期高齢者医療	1816万円	1715万円	24万円	〃
	小計	29億5851万円	25億6635万円	8626万円	
合計		212億7642万円	192億9820万円	※5億4682万円	

※国庫補助金と県補助金の翌年度繰越事業に充当する2367万円が含まれています。

一般会計・特別会計　歳入歳出決算額、積立金現在高、町債現在高の推移



町民１人当たりの金額
（一般会計・特別会計決算額）

歳入	約 419万円
歳出	約 380万円
預金	約 94万円
借金	約 77万円

平成 28 年 10 月 1 日　人口 5,071 人で算出

※金額は全て千円以下を切り捨てて表示しています。

９月定例会のようす

平成 27 年度決算
財政指標の状況をチェック

区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実質収支比率	69.1%	38.3%	19.3%	32.5%
経常収支比率	91.8%	96.7%	60.8%	59.3%
公債費負担比率	5.7%	5.2%	5.6%	3.3%
財政力指数	0.949	0.940	1.456	1.361
基準財政需要額	14 億 2979 万円	15 億 100 万円	17 億 385 万円	17 億 8540 万円
基準財政収入額	13 億 5629 万円	14 億 1120 万円	24 億 8135 万円	24 億 2989 万円

※金額は全て千円以下を切り捨てて表示しています。

〈それぞれの用語説明〉

- 実質収支比率：標準財政規模に対する実質収支額の割合です。
- 経常収支比率：経常的経費に経常一般財源のうちどれだけの割合の額が充当されたかを示す比率です。70 ～ 80%が標準とされていて、80%を著しく超える団体は財政構造の硬直化が進んでいるといわれています。
- 公債費負担比率：一般財源の総額に対する公債費に充当された一般財源の比率です。
- 財政力指数：普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値です。指数が１以上の団体は、極めて財政力の強い団体といわれています。
- 基準財政需要額：地方交付税の算定の基礎となるものです。
- 基準財政収入額：普通交付税の算定に用いるものです。

※危険信号
この基準を超えてしまうと、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、自主的に財政の早期健全化に向けた取り組みを行わなければなりません。

平成27年度決算
４つの健全化判断比率でチェック

指標	内容	広野町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	１５%
連結実質赤字比率	全ての会計の赤字の割合	赤字なし	２０%
実質公債比率	年間の借金返済額の割合	８．２%	２５%
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債の割合	※　－	３５０%

※将来負担額を充当可能財源等が上回るため、「－」と記載しています。

広野町の財政の健全性を表す指標は、いずれも危険な基準を超えておらず、財政状況は良好とされています。

決算質疑

予算執行の成果を次年度予算に反映

芝刈り機の使用状況は

北郷幹夫議員

以前、乗用の芝刈り機を購入しましたが、現在の使用状況はどのようになっていますか。

猪狩生涯学習課長

みかんクラブの職員がグラウンドの除草を行っています。特に夏場は除草回数が増えるため定期的な除草を行っています。

乗用芝刈り機

賃借料の減額はできないか

阿部憲一議員

ホームページ運営委託料の賃借料は140万円ほどあり、サーバー関係の予算の計上かとは思いますが、システムを整理して減額できるものではないかと考えますがいかがですか。

大和田総務課長

ご指摘のとおりサーバーの更新に係る賃借料の計上です。この経費を少しでも削減するための内容で28年度は予算を組ませていただきました。

出産祝金の実績は

渡邉正俊議員

平成27年度の決算にあたり、出産祝金の第1子、第2子、第3子等のそれらの数はどのようになっていますか。

鈴木福祉介護課長

平成27年度は、第1子が18人、第2子が7人、第3子が4人、第4子が1人、その他第4子の小学校入学者が1人、第5子の中学校入学者が1人、計32人に支出しました。

収入未済額を減らす対策は

塩　史子議員

町税の収入未済額が多く、いかに収入を得るかが一番の問題だと思います。

収入未済額が多く出てしまうという問題に対してどのような対策を考えていますか。

遠藤税務課長

コンビニ収納を実施しており、土日でも納めることができます。

また、今年度はこれから催告書を発送しますが、納税相談に応じない悪質な滞納者の方には預金の差し押さえを行いたいと考えています。

収入未済額が減少した理由は

北郷幹夫議員

町税の収入未済額は、平成26年度と比較すると平成27年度が約1700万円減少していますが、その理由は不納欠損によるものなのか、それとも職員の努力により減少したものなのですか。

※不納欠損額
滞納分の徴収金が徴収できなくなったため、その分の調定額を消滅させた額。

遠藤税務課長

滞納繰越額が平成26年度の約1億2千500万円から平成27年度の約1億850万円ほどに転化した理由は、

※不納欠損額は平成26年度が約1950万円、平成27年度は約900万円ですので、不納欠損ではなく、この差額約1000万円と約1700万円は、徴収の努力によるものです。

町税等はコンビニ納付が可能

収入未済額を計上している理由は

門馬　巧議員

国民健康保険税の収入未済額が約7500万円ありますが、国保税の減免あるいは医療の窓口負担を減免をしている中で7500万円計上している理由をお尋ねします。

遠藤税務課長

収入未済額のうち、震災前からの繰越もありますが、主なものは滞納繰越分です。

平成27年度で課税された方、震災以降に転入された方、高所得者の方等は課税の対象となりますが、震災以降に転入された方の現年度分の滞納があります。

健診未受診者に対する対策をせよ

門馬　巧議員

特定健康診査の対象者が1175人中、514人、受診率は43・7%と半分をきっています。

未受診者に対して受診を進める手立てを講じるべきではないですか。

松本町民保健課長

平成27年度7月の健診に来なかった方が571人いたため、その方に電話で勧奨しました。勧奨により9月の追加健診に60人ほどの方に来ていただきました。

受診率の向上には今後ともいろいろと努めて参りたいと考えています。

7月に実施した健診のようす

復興事業の具現化に向けて 全会一致で可決

財政調整基金積立金（町の貯金）など 9億528万円を追加補正

今回補正は、財政調整基金積立金（町の貯金）や道の駅整備事業などの内容となりました。

これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ６億5700万円追加され、総額で122億8636万円となりました。

補正の結果

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	6億5700万円	122億8636万円
国民健康保険特別会計	3957万円	11億7539万円
土地開発事業特別会計	1億5788万円	3億5256万円
介護保険特別会計	4983万円	5億6539万円
後期高齢者医療特別会計	100万円	2161万円

主な内容

○財政調整基金費（町の貯金）	1億1498万円
○道の駅整備事業費（測量設計など）	1億579万円
○ため池放射性物質対策事業費（ため池の除染など）	8268万円
○防災行政無線整備事業（個別受信機の追加購入）	4374万円

※金額は、全て千円以下を切り捨てて表示しています。

ため池除染を実施する基準は

北郷幹夫議員

ため池除染は、110カ所のうち、最終的には線量の高い順番に指定して40カ所の除染を実施するという話もありましたが、どのような基準で指定するのですか。

中津放射線対策課長

ため池110カ所のうち農業水利として機能を果たしているのは40カ所です。

県・国と調査を行っており、基準は8000ベクレル／kgを超えたものを実施します。

除染が望まれる農業用ため池

避難・帰町する方への考えは

小磯利雄議員

避難住民に対する行政支援とはどういったものですか。

また、町民に対して良識ある判断を大変期待していますが、町民の方が帰町しないほうがいいとならないようにどのような考えをもっていますか。

鯨岡環境防災課長

町に住所を置いている方で町外に避難される方に対して、広報等を郵送で配っており、そういったものが住民に対する行政サービスとなっており、来年４月以降も継続して行います。

遠藤町長

来年の春に向けて対話をしながら取り組み、行政として誠心誠意、住民の方々の状況を受けとめながら捉えていかなければならないと考えています。

光ファイバー設置の計画は

小磯利雄議員

駅東側開発を進めていますが、当然そのインフラの中には光ファイバーの設置が前提となっていると思いますが、どのような状況ですか。

大和田総務課長

第二期地区の整備にあたり、東北通信局とNTTと打ち合わせをしています。

また、駅東側地区に限らず、東原地区他においても同様に対応を急いでいます。

駅東側の第２期整備エリア

宿泊棟の今後の計画は

渡邉正俊議員

二ツ沼総合公園内にある宿泊棟のこれからの運用に向けた計画はどのように考えていますか。

松本復興企画課長

年度内にボイラーの修繕を終わらせたいと思います。なお、各部屋の空調の不具合もありましたが、そちらは振興公社で修繕をします。

来年４月以降は使えるようにしたいと思います。

二ツ沼総合公園内「合宿の宿」

2件の人事案件に同意

広野町教育委員会教育長に浅野　一氏を適任者とすることに同意しました。

任期は平成28年10月15日から平成31年10月14日までとなります。

教育委員会教育長

浅野（あさの）　一（はじめ）氏
（上北迫）

広野町教育委員会教育委員に猪狩順子氏を適任者とすることに同意しました。

任期は平成28年10月15日から平成32年10月14日までとなります

教育委員会委員

猪狩（いがり）　順子（じゅんこ）氏
（下北迫）

討論の末

広野町教育長の任命に関する同意を求めることについて

8対1で可決

反対

阿部　憲一

放射能等の知識があるか疑念を感じる

阿部憲一議員

教育長は今の町の状況からして大変重要な立場であるので、子どもたちのために

も放射能等に関する知識があるのか疑念を感じます。

賛成

塩　史子　小磯　利雄
渡邉　正俊　門馬まりえ
門馬　巧　遠藤　浩
北郷　幹夫　北郷　伯弘

前任期中も真摯に任務を全うした

塩　史子議員

広野生まれの広野育ちであり、町民の人望も厚く、性格も温厚実直な人柄です。

前任期中も教育長として真摯に任務を全うされ、最適任者であると思います。

消防団設置等に関する条例の一部を改正

町内勤務者の加入が可能に

本町に勤務する年齢18歳以上の方（広野町以外の市町村が設置する消防団に所属する方を除く）についても消防団加入が出来るとする条例の一部改正の議案を可決しました。

団員の確保が望まれている

財産の取得

町バス1台を買い替え

平成6年度に購入した町バスは、経年劣化による不具合が発生しているため、安全性を考慮し、老朽化したバスの買い替えをする議案を可決しました。

質疑　財産の取得

買い替えるバスの用途は何か

塩　史子議員

入れ替えるバスの主な用途は何に使うのですか。

また、町ではバスを出してくれないと各団体からの声をよく耳にします。バスが空いていれば使用させていただきたいのですが、今現在どのような状況ですか。

大和田総務課長

マイクロバスで対応しきれない乗車人数の場合に対応します。

バスの貸し出しは、他町村でも殆ど行っておらず、国からも事故が増加しているため緑ナンバー（営業用）ではないバスの貸し出しは控えるよう指導がきています。

各団体への貸し出しは状況が許す限り貸し出しします。

久保田1号線

駅東側と市街地北部を結ぶ

復興整備区域沿岸部に整備中の県道広野・小高線からJR常磐線を横断し、市街地北部を結ぶ幹線道路を新設する工事の議案を可決しました。

工事の名称
久保田1号線道路新設工事

施行場所
下北迫字久保田地内

工事請負代金
9018万円

工　期
着工　平成28年9月15日
完成　平成29年3月24日

請負者
株式会社金村組

第2期災害公営住宅

工事内容変更に伴う減額

L型擁壁工の高さの変更、構内舗装のアスファルト工の減による変更契約の議案を可決しました。

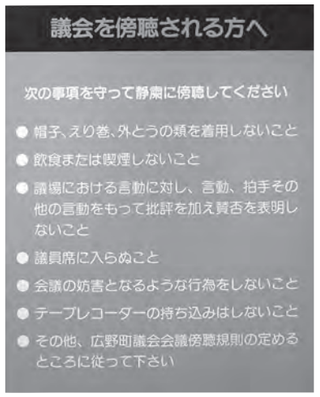
工事委託の名称（変更なし）
第2期災害公営住宅敷地造成工事

施行場所（変更なし）
折木字大平地内

全体協定の金額
8780万4000円を
7961万6520円に変更
（818万7480円の減額）

工　期
着工　平成28年1月27日
完成　平成28年9月30日

請負者（変更なし）
ときわ工業株式会社



議会傍聴においでください

次の定例会は12月です

傍聴は、役場3階の議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入し、傍聴席入口（西側）からご入場ください。

委員会報告

委員会の活動　状況を報告します。

総務文教常任委員会　平成28年８月17日(水)　午前開催
産業厚生常任委員会　平成28年８月17日(水)　午後開催

元気いっぱいの運動会（広野幼稚園）

委員会報告

総務文教

町　民の期待に応える整備を
広野駅東側開発

復興企画課長より説明を受け、各委員より、第２期工事で土地購入を検討するとしているが説明会を開催するためにはっきりと決めておくべきではないか、ハウスメーカーが土地を購入して開発するように聞こえるがどうなのかなどの質疑がありました。

町より、用地の取得と併せてハウスメーカー数社と話は進めている、土地は町で購入して売るということで進めているとの説明がありました。

委員会として、町民の期待に応えるようなものを造るよう要請しました。

総務文教

笑　顔が絶えない施設となるように
幼保連携型認定こども園設置事業基本構想

学校教育課長補佐より説明を受け、構想の案は誰が決定するのか、保健センターの駐車場が確保できるよう連携し、トイレ増設等の設備改善も含めて避難施設として使用できる対応を検討してほしいなどの質疑がありました。

町より今後、設計業者を選定し、関係各位と協議をして基本設計に結びたい、町民の命を守るため駐車場やトイレ等を検証していきたいなどの説明がありました。

委員会として、子育て世代が大変期待している事業であり、子どもたちの笑顔と笑い声が絶えない施設となるようしっかりと計画を進めるよう要請しました。

産業厚生

帰　町に向けてしっかりと進めよ
減容化施設に係る進捗状況

環境省福島環境再生事務所の廃棄物対策官 堤 徹平氏、減容化施設整備課長補佐 福島正明氏より説明を受け、各委員より、来年処理終了時点でのスラグ総量と処理方法について、町としての取り組みについて、里山除染についてなどの質疑がありました。

環境省と町より、来年終了時点での在庫総量は９２００ｔの見込みであり、９月20日以降の入札結果よりスラグ処理能力と再利用方法を開示したい、町としては環境省、県、東京電力と連携を図る協定等があり対処する、里山除染はモデル除染等により今後制度設計が見えてくるとの説明がありました。

委員会として、来年３月に全町民が戻るためしっかりと進めるよう要請しました。

産業厚生

計　画通り進捗せよ
ほ場整備事業

産業振興課長より説明を受け、各委員より、受益者の中に全ての費用が無償と誤解をしている方がいる、県・土地連・改良区とのすみ分けについてなどの質疑がありました。

町より、日当・事務費等は関係地権者負担になり再度改良区より説明をさせる、改良区と県が事務を進め、土地連は設計を行い、工事は相双農林事務所で実施されるとの説明がありました。

委員会として、計画通り進捗するよう要請しました。

委員会報告

産業厚生

生　命・財産維持の強化を
消防団員の確保

環境防災課長より説明を受け、各委員より、前定例会より時間をおいての再提案の考慮はできないか、国・県から整合性のとれた助言はあったのか、初動体制及び加入促進等についての質疑がありました。

町より、条例案の主旨に従い整えることが団員確保に向け前進すると認識している、消防庁・県に対し法令上問題ないことを確認している、町職員の消防団員による初動出動等により連携強化を図る、加入促進に向けてチラシ発行と定期的な広報活動を行うとの説明がありました。

委員会として、町民の生命・財産維持がさらに強化されるよう要請しました。

産業厚生

安　心して帰町できる体制を
高齢者対策

福祉介護課長より説明を受け、各委員より、生活支援相談員の訪問活動について、リリー園には本町民１人の19人が入所されているが花ぶさ苑と比べると少なくないか、スタッフ数や入居待機者な何人なのかとの質疑がありました。

町より、リリー園は１ユニット20人の入所状況であり、ユニットを増やすには７～８人のスタッフが必要になる、入居待機数は後日報告し、生活相談員には相談時間を取って対応するよう伝えていくとの説明がありました。

委員会として、訪問対象者82世帯１３８人の町外在住者が安心して帰町できるよう要請しました。

産業厚生

進　捗状況の定期的な報告を
防災拠点・道の駅ひろの整備

建設課長より説明を受け、各委員より、国事業で楢葉町以北へ公共事業不足土対策として搬出した後に負担は発生しないか、ほ場整備での客土の利用についてなどの質疑がありました。

町より、土取りは国資本で賄うよう協議中である、次世代の負担にならないよう考えている、町内公共事業や要請のあった68ヘクタールのほ場整備の客土に利用したいとの説明がありました。

委員会として、今後も動きがあればその都度報告するよう要請しました。

地域の高齢者を支える花ぶさ苑

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？　どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成27年９月定例会●　一般質問

遠藤　　浩　議員

防災備蓄品を整備し、防災機能を強化せよ

災害発生時に住民への支援を円滑に行うため、防災備蓄倉庫の整備、防災機能の強化に係る内容は、①非常食や飲料水、防災資機材等の備蓄計画はどうなっていますか。

想定避難者数に対する備蓄品を早期に完備

防災備蓄倉庫が完成次第、想定避難者数に対応する数量を早期に整備していきます。

防災備蓄倉庫が完成

平成28年８月31日に防災備蓄倉庫が完成しました。

今後、築地ヶ丘体育館に仮置きしている備蓄品が倉庫内に移動されます。

6人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

北郷　幹夫　議員

二次救急医療機関を設置せよ

遠藤町長／平成30年度に富岡町で開院する

北郷　県が双葉郡内に24時間体制で、けがや急病で入院治療が必要となる患者に対応する二次救急医療機関を整備する方針を示していますが、設置場所、病床数、診療科などの現況はどのようになっていますか。

また、早急に当町に設置し、医療の安全・安心を確保すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

町長　県は、福島県立医科大学付属病院内に「ふたば救急総合医療支援センター」を設置し、双葉地方消防本部楢葉分署に、救急医師が待機し、救急通報要請に応じて現場で初期治療を実施しています。

また、富岡町王塚地区に「（仮称）ふたば医療センター」を設置し、24時間365日体制で救急医療と外科・内科的疾患全般を対象とする総合診療を行い、病床数を30床として、平成30年４月を目途に開院します。

設置場所は、交通アクセスや原子力発電所の被ばく事故への対応など、総合的に判断したものです。

救急専門医が常駐している楢葉分署

町民の声を行政に反映せよ

遠藤町長／ご意見を真摯に受けとめ対応

北郷　町民と町の方向性を共有し、参加と協働による町づくりを進めることが重要ですが、

①平成27年２月から「町長との懇談の日」を開催され、本年度から従来からあった「町民の声」の制度を統合して「町長への手紙」を実施していますが、現況はどのようになっていますか。

②町民税の１％相当額の使いみちを町民が提案できる「町民予算提案事業制度」の現況はどのようになっていますか。

③地方分権が進み、自主的な創意工夫が求められ、職員の能力開発が期待されています。今後の町民サービスの向上や業務の効率化を図り政策へ反映するためにも、「職員提案制度」の導入を図るべきではないですか。

町長　①現在、14通の手紙を受付し、様々な意見や要望があり、町民の理解を得るべく真摯に対応します。

②平成18年に要綱を制定し、平成22年度分まで募集し、その間の応募件数は１件です。

平成23年度分以降は、除染及び復旧・復興事業等を最優先していることもあり募集は休止していますが、状況を見ながら再開を検討します。

③平成26年５月には全職員に対し「町民帰還に向けた施策の提案」を求め、74人から企業誘致・雇用の場の確保、住宅整備の推進などの提案を頂いた経緯があります。

新たな町づくりに向け、職員の意識改革や組織の活性化などに効果が考えられるため導入を検討します。

県・町の引越補助金制度を周知せよ

遠藤町長／関係機関と連携し周知している

門馬 福島県引越補助金申請について、町の環境防災課で県の補助申請のポイント、町の補助申請のポイントを広報されました。

①福島県引越補助金、広野町引越補助金の該当にならない方はいるのですか。

②高齢者等に理解いただくため、広報以外で工夫された事がありますか。

町長 ①福島県引越補助金の該当にならない方のために、広野町引越補助金を創設したため、どちらかの補助金の該当になります。しかし、県、町どちらの引越補助金も申請期限が、自宅帰還をした月から3カ月後の末日であるため、その間に申請に来られなかった方は、受け取っていただけておりません。

広野町引越補助金は、柔軟に対応し、福島県引越補助金は、申請期限の延長を求めていきます。

②仮設住宅の管理人の方々による周知や、保健センター、社会福祉協議会の訪問活動による周知をしています。

健康づくりに取り組める事業の検討を

門馬まりえ 議員

運動習慣を拡大させる取り組みを

遠藤町長／健康づくりに取り組めるよう検討

門馬 第五次広野町町勢振興計画基本計画の中で、「健康づくりに対する町民の意識改革を全町的な取り組みとするとともに」とありました。

①町には二ツ沼総合公園があり、起伏のあるパークゴルフ場もあります。そこで、運動習慣の拡大のため、若い頃から親子で健康づくりをする事業等を検討されてはどうですか。

②目標を持ち健康づくりに励んでいる人を健康まつりで紹介するなどして共に頑張れる、支え合う仕組みづくりを検討されてはどうですか。

町長 ①生活習慣病予防に対する意識を町民の健康づくりに役立てるため、パークゴルフ大会の親子大会、行政区大会、みかんカップ、健康ウオーキングをはじめ、双葉郡スポーツ交流大会などに向けて、健康づくりに取り組めるよう検討します。

②町民の健康づくりを支え合うための「ひろの健康ポイント事業」を11月上旬のスタートを目標としています。内容は、日々の健康づくりに係る行動の積み上げによるポイントと、町の企画する健康事業への参加ポイントの合計で3000ポイント貯まると、ポイントカードと引き替えることができます。

この事業は、県が実施している「ふくしま健民カード事業」と連携しており、ポイントカードは県内の約760店舗の協力店で利用でき、料金割引などの様々な特典が受けられます。

県道249号線を利活用した施策整備を図れ

遠藤町長／様々な利活用を検討

門馬 国道6号桜田交差点を起点とする県道249号線は、いわき市小川町上小川地内間の途中3カ所を残し、全面舗装となり完全とはいえないまでも通行に供用されています。

そこで、この社会的資産を県と提携し、利活用する次の施策整備等を図ることはできませんか。

①拡幅・待避所・安全柵等の諸整備

②万一時の避難道指定の周知徹底

③箒平地区の空き家の利活用

④浅見川渓流の自然景観の観光発信

⑤旧原石採石跡地の利活用（ロッククライミング場）

町長 ①東日本大震災以降、箒平地区からいわき方面への整備は、落石のある危険個所を災害防除事業として整備を進めており、箒平地区から下流側4・8キロメートルの区間は、平成27年度から復興支援道路事業として、道路拡幅改良の予備設計を実施しています。

②県道249号線は、福島県広域避難計画及び広野町原子力災害避難計画に基づき、国道6号桜田交差点から県道35号までの区間を避難ルートと位置付けています。

しかし、至る所に落石の恐れや道幅が狭い箇所があるため、安全な道路整備を図るよう関係機関に要請し、この現状を町民にご理解いただけるよう周知を図ります。

③箒平地区は、東日本大震災及び原子力災害により全町民が避難したことから、地区内で急激な過疎化が進み、空き家が目立つ状況です。

関係団体と協議し、空き家の利活用を継続して検討します。

④自然景観に係る情報を町のホームページに掲載すると共に、県や県観光物産交流協会に依頼し県内観光地を紹介するパンフレットなどに掲載して頂くなど、積極的な観光情報の発信に努めます。

⑤原石採石跡地は、県道から砕石跡地へ渡る2カ所の橋梁の老朽化のため通行が禁止されたことにより、手入れが中断し今日に至っています。

跡地斜面の大半は雑木が繁茂し林地化しており、風化による落石の恐れもあるため、安全面を考慮し水源林として管理をして様々な利活用を検討します。

門馬　巧 議員

県道249号線

小・中学校の体操着を購入できる体制を

遠藤町長／商工会に理解と協力を要請する

門馬 現在、小学校には142名の児童・中学校には68名の生徒が通学し勉学と運動に勤しんでいます。その中で、誰もが着用し重用している体操着は学校生活の必需品です。

現状ではいわき市内一店舗のみの販売となっているため、買い替えに不便をきたしています。

町内でも購入できないかとの要望が多々ありますが、町長の考えを伺います。

町長 小学校・中学校ともに、保護者の皆様には大変不便をおかけし、その対策が急務であることは重々認識しており、地域振興券やプレミアム商品券などの活用により、商工会の活性化を図り、運動着をはじめとした販売品目の拡充等を期待しています。

町内で購入できるよう商工会に対し、理解と協力を継続して要請します。

子どもに対する支援の更なる充実を

遠藤町長／関係各位と協議して検討する

遠藤 平成29年3月末で東日本大震災に係る応急仮設住宅の供与期間が終了し、帰町者の中に多くの子どもたちが含まれると想定されます。

現在、「新生広野の町づくり」に取り組んでいる中で、子どもたちに対して、更なる継続的な支援、地域コミュニティーの再構築、学校生活の充実が必要と考えますが、

①震災以降、保護者から激変した生活環境下での登下校を心配する声を多く聞きます。

来年度も登下校に対し、スクールバスの通学支援を継続する考えはありますか。

②帰町しても震災以前のように行政区内に子ども会などの交流の場がない事に不安を訴える保護者の方々が多くいますが、地域コミュニティーの再構築をどのように進めますか。

③帰町後の学校生活を心配する意見をいただいています。特に中学校は、生徒、保護者から部活動として活動できなくても、運動できる場の環境整備に期待する声が上がっています。

みかんクラブ等と連携し、生徒の運動の場を提供することはできませんか。

遠藤　浩　議員

町長 ①朝夕の車両の増加に加え、町内に作業員宿舎などが建設されていることから、帰町した保護者の不安を解消するとともに、小中学生の登下校の安全性を確保するため、次年度においても、スクールバスの運行を継続したいと考えています。

②子供たちの地域コミュニティーの場について、子供会の充実を図ることを念頭に、関係各位と協議しながら鋭意検討し進めていきます。

③現在、みかんクラブの事業において、幼児から成人までを対象とした各種スポーツ教室の中でも、サッカーやバレーボール、ソフトテニス教室は中学生も参加しています。

中学校の部活動では個人及び団体競技が整っていない状況において、みかんクラブが様々な形で支援できるよう連携を図っていきます。

来年度もスクールバスの運行を継続

議会でははぐらかしの答弁をやめよ

遠藤町長／真摯に答え丁寧に説明することが責務

阿部 町長は私の質問が不都合なのか、質問の主旨と噛み合った答えをしようとしません。

はぐらかす、雰囲気だけの言葉を並べて「安全・安心」を印象づける、全くの虚偽を言ってその場を切り抜けることを毎回繰り返しています。

互いに道理を尽くして、折り合わない部分は賛否を問うというのが議会制民主主義の常道です。

今後の議会では、こうした行為を一切やらないと誓いますか。

阿部憲一　議員

町長 町議会は町民により選出された議員によって構成された町の議事機関であり、町民の意思を幅広く代表するものです。

条例、予算等に加え、町の重要施策について、町民を代表する議員の皆さまにご審議いただく訳ですので、頂戴するご質問は、真摯にお答えし、丁寧に説明することが私の責務と心得ています。

地域振興券等の支給が極めて不公平

遠藤町長／支給要綱に従っている

阿部 ①地域振興券も電気・水道料等給付金も、震災・原発事故の時に町に暮らして、その後に転出した方には支給をしていません。

しかし、高齢者が特養へ、若者が寮へ入所して住所変更した場合には支給をしている例もあり、また、町民と結婚した配偶者やその子どもには支給をしています。

線引きにまるで道理がなく、行政裁量が不公平であり、震災・原発事故の時に町に暮らしていた町民全員に支給すべきだとの強い批判が出ています。広野町から転出した方には支給の知らせを送っていません。

今年3月31日までの転出者は何人かを含めて対応を変えるかについて回答を求めます。

②震災・原発事故の時に町に暮らしていながら転入届を出していないかった町民に対しても支給を拒否しています。その後は納税をしているはずであり、納税者に対して町が不合理に権利を奪うのは明らかに法的に問題があります。居住実態がありながら震災・原発事故の後に転入届を出した方は何人かを含めて回答を求めます。

③町長は自身が放棄した国への精神的損害賠償の代わりに生活再建支援策を打ち出して、住民説明会でも話していますが、それが地域振興券と電気・水道料等給付金です。補償賠償の対象は「震災・原発事故の時に町に暮らしていた町民」以外の誰ですか。

今頃になって「今年3月31日に町に住所がある者」と線引きをする道理はありません。そして今後もこの不公平な扱いを続け、賠償格差を拡げようとしています。「警戒区域との賠償格差をなくす」が町の一番の課題ではないですか。

④これは「転出したらお金を切るぞ」ということです。被災者の補償賠償に代わるお金を人質に取ったり、震災時の自治体が被災者を切り捨てるとはどういうことですか。

町長 ①支給要綱により、平成28年4月1日を基準日とし、住民基本台帳に登録している方を対象としています。

震災以降、今年の3月31日までの転出者数は858人です。

②支給要綱により平成23年3月11日に住民基本台帳に登録している方が対象になります。居住実態は承知していませんが、前住所地に転出届を提出し、相当期間をおいた震災後に転入届を提出した方は3人です。

③国等の関係機関に対し、自立に向けた生活再建支援策が講じられるよう要望・要請活動を進めていきます。

④自治体間の格差是正及びコミュニティーの再生支援並びに避難生活からの帰町に向けての生活再建にさらなる支援をいただけるよう国・県に要望要請し、町として出来る施策が講じられるよう検討します。

県へ仮設住宅の存続を強く求めよ

遠藤町長／国・県から支援を獲得した

阿部 仮設住宅やみなし仮設住宅を県が来年3月で供与を打ち切りとしていることで、経済的に余裕がない人、家がある人は町への帰還を強いられています。町に戻って暮らすことがいかに危険性があるかは原発事故から5年後の土壌汚染が町と同じレベルだったウクライナ・ベラルーシの町や村の今を見れば明々白々です。

みなしを含む仮設住宅の存続を県に求める意志がありますか。

町長 国・県より引越補助金など帰還や生活再建のための支援を獲得しました。

今後も国・県と協議し、支援策に取り組んでいきます。

一般質問

将来世代の負担にならない財政運営を

遠藤町長／負担とならない財政運営を図る

小磯 財政の現状及び収支見通しより、財政運営について伺います。

①計画性の無いその場しのぎの財政運営が見受けられます。

町財政の現状と長・中期財政収支見通しを伺います。

②財政運営の基本方針を伺います。

③将来世代への責任を果たす財政運営について伺います。

町長 ①平成28年度は、8億円の基金の増額が見込めるため、財政調整基金の残高は17億4千万円となる見込みです。

税収は、償却資産の減価償却により、毎年減少する見込みにあり、平成31年度には、建設事業以外の経費に財政調整基金を繰入する必要があると見込まれます。

平成33年9月には広野火力発電所でIGCCが運転開始予定であり、新たな固定資産税の増収が見込まれ、健全な財政運営は維持できると見込んでいます。

②町民が健康で安心して暮らせる環境づくりを実現するための財政運営を基本方針としています。

③地方債の借入は、負担をしていただくことが適当な事業を対象とすることを心がけ、将来世代の負担とならない財政運営を図ります。

計画的な予算執行を

遠藤町長／事業を精査し計画的な執行に努める

小磯利雄　議員

小磯 計画に従って事業を実施し、係る費用を支出することが予算執行ですが、

①被災住宅再建を担う津波被災者等住宅再建支援事業の決算金額・達成率はいくらですか。

他の達成率が悪い事業名とその理由をお知らせ下さい。

②27年度繰越明許費・一般会計15事業、総額5億5454万円の執行ができず来年度に繰り越した理由はなんですか。

③交付金・補助金の返還による事業の中断等はないのか伺います。

町長 ①当初予算額1億4100万円に対し、支出額は2405万円で、執行割合は17・4％です。

執行割合の低い主な事業は、土地開発事業特別会計操出金の平成26年度からの繰越事業の執行割合は51・6％であり、その理由は、工事内容を見直したことなどにより事業費が縮減されたためです。

復興道路整備事業の執行割合は18・2％です。

②関係機関との協議に時間を要したため年度内の事業完了が困難になり、国の補正予算による事業のため年度内の事業完了が困難となったためです。

③現在、事業の補助金等の返還による中断はありません。

応急仮設住宅供与期限終了に伴う対応は

遠藤町長／様々な支援策により対応する

小磯 帰町難民を防ぐため、最後の一人まで責任を持って対応するべきと考えますが、

①町外居住者の帰町は可能なのか伺います。

②帰町困難者に対する対応を伺います。

町長 ①戸別訪問とアンケート調査により、平成29年3月末までに約1700人が帰町すると見込まれ、町内居住者は、人口の約8割の約4000人になると推測されます。

来年3月末時点では、約1000人の方々が帰町されない状況と推測します。

②地震・津波により、住宅支援が必要な方に対して、第二期災害公営住宅14戸、駅東側民間集合住宅114戸が来年3月末には完成するため、対応できると見込んでいます。

町と議会の関係性を理解しているか

遠藤町長／一体感を持って取り組むことが重要

小磯 首長の権限は予算や条例などの議案提出や人事などを行い、議会は議案の議決などで行政運営を監視し、要望活動等は共に連携を取ることが前例ですが、

①執行機関と議事機関との関係をどのように考えていますか。

②今後は執行機関のみで要望活動するのか伺います。

町長 ①国の復興に資する様々な支援と被災者の生活再建に対する継続的な支援並びに廃炉に向けた着実な取り組みに向け、一体感を持って進むことが重要と考えます。

②町が独自に行う要望は、できる限り議会の皆様のご理解を得ながら合同による要望活動を進めたいと考えています。

臨時会

第3回臨時会

2件の工事契約を可決

平成28年7月21日に第3回臨時議会を開きました。

工事請負契約の締結に係る2件の議案を全員の賛成で可決しました。

工事の名称
浅倉橋橋梁整備工事
施行場所
上浅見川字虻木地内
工事請負代金
1億3824万円
工期
着工　平成28年7月22日
完成　平成29年3月24日
請負者
横山・五社山特定建設工事共同企業体

工事の名称
北迫地区排水路（樋門）築造工事
施行場所
下北迫字前川原地内
工事請負代金
6717万6000円
工期
着工　平成28年7月22日
完成　平成29年3月31日
請負者
西本建設株式会社

交通の利便性と安全確保のために（浅倉橋）

質疑

北迫地区排水路（樋門）築造工事

雨量の想定はどの程度か

門馬 巧議員

樋門の断面は1・7mとのことですが、事業を行う地域は従来より冠水頻度が多い地区かと思います。

想定される雨量等はどの程度を想定してこの断面に決まったのですか。

坂本建設課長

時間雨量は確率10分の1で計算し、50㎜近くの対応の設計です。

また、久保田1号線、常磐線の下には、海側の方に排水管が築造されているため、そのことも勘案しながら排水能力を確保して工事を進めたいと考えています。

完成時期が遅れることはないか

遠藤 浩議員

現在、河川の工事が行われていますが、県と町で行う相互の工事の調整等はされていますか。

県の工種の影響等で、工事の完成時期が遅れることはありませんか。

坂本建設課長

北迫川沿線、右岸・左岸も県の工事と町の工事を展開していますが、優先施工順序としては排水・樋門の設置が一番先になる予定であり、来年の3月までに竣工出来るようにしたいと考えてます。

まちかどインタビュー

農業再開4年目の秋に想うことは
攻めの農業と農業再建の重責を担う！

原発事故の影響により、震災後は米の作付けを2年間自粛していましたが、平成25年から作付けを再開し、今年で事故後4年目の収穫となりました。

今回、農業再開からの感想や想いをお伺いしました。

矢内　光正さん
（折　木）

原発事故から放射線物質による農地、農産物等の汚染、さらに風評被害と、厳しい状況下の4年目、収穫の秋を迎えました。

農業の復興、再生に向け農産物関連情報の開示など様々な信頼回復に取り組み、さらに、農業就業者の減少・高齢化により若者の就業に繋がるよう復興が急がれます。

地域において、折木地区の水がめである「西の沢ため池」除染と、ほ場整備事業より、攻めの農業に魅力を感じたいものです。

横田　和希さん
（上北迫）

東京電力福島第一原子力発電所事故より、荒廃した田畑を耕し風評被害と闘いながら4年目の収穫を迎えました。

活路を求め全国を歩き、失ってはいけないふるさと再興と経営効率の向上を目指し、鶴ヶ崎地区ほ場整備事業のリーダーを引き受けました。

自身の農業のみならず、地区内外の農業再建の重責を担う覚悟です。事故との終わりなき闘いが今も続いています。

編集後記

地球温暖化の影響なのか、今年の夏は暑い日が続きましたが、最近は急に寒さが感じられる季節になりました。

今回の「議会だより」は、9月定例会いわゆる決算議会の内容を主として編集しました。

以前（平成20年度）、先輩委員によって、町村議会広報全国コンクールで「ひろの議会だより」が全国1位となる「最優秀賞」を受賞しました

当広報委員会も「議会の内容を正しく」、「わかりやすく」、そして町民のみなさんに「読んでいただける」広報誌づくりの編集に取り組み、再度、受賞される事を目標において努力して参りますので、これからも広報誌づくりについて、みなさんのご意見、ご感想をいただければ幸いです。

（北郷幹夫）

秋の花コスモス

次の定例会は12月です

発行・編集責任者
議　長　黒田政徳
広報委員会
委員長　塩　史子
副委員長　阿部憲一
委　員　北郷幹夫
委　員　小磯利雄
委　員　遠藤　浩

●発行／福島県広野町議会　〒979-0402　福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35　●編集／広野町議会広報委員会　TEL0240-27-4165（広野町議会事務局）

VEGETABLE OIL INK